

疾患名	都道府県拠点として望まれる機能	実績確認の内容	課題	望まれる機能の変更案	実績確認の内容の変更案
認知症	①認知症専門医を養成する研修が可能 (府全体の研修機能がある)	①研修の内容がわかる資料(実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料)	・「認知症専門医の養成」という表現があいまいでわかりにくい。 ・学会の専門医研修との混乱がある。	①認知症治療への対応力向上研修が実施可能(府全体の研修機能がある)	変更なし
	②高度な診断機能(認知症疾患医療センターで通常できる鑑別診断より高度な検査や診断が自院内で可能)		・SPECTを使った鑑別診断について保険が通らないという指摘あり(要件には書いていないが、自院でSPECT使用が可能が要件になっている)	②自院内で高度な検査等(例 SPECT)による鑑別診断が可能	②自院内で実施した高度な検査件数(年)
PTSD			・拠点の要件を定めていない⇒要件を定めるかどうか	PTSDについての専門的治療を行っており、人材育成が可能(府全体の研修機能がある)	研修の内容がわかる資料(実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料)
アルコール依存症	専門プログラムの普及・困難事例の入院治療が可能	専門プログラムの普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)	・「プログラムの普及」という表現があいまいでわかりにくい。(医療機関への普及を想定⇒断酒会の研修会が対象になるかの問い合わせ)	専門プログラムの医療機関への普及・困難事例の入院治療が可能	専門プログラムの医療機関への普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)
薬物依存症	専門プログラムの普及・困難事例の入院治療が可能	専門プログラムの普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)	・「プログラムの普及」という表現があいまいでわかりにくい。	専門プログラムの医療機関への普及・困難事例の入院治療が可能	専門プログラムの医療機関への普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)
ギャンブル依存症	専門プログラムの普及が可能	専門プログラムの普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)	・「プログラムの普及」という表現があいまいでわかりにくい。	専門プログラムの医療機関への普及	専門プログラムの医療機関への普及状況がわかるもの(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)
てんかん	重症例に対応(てんかん重積発作に対応等)が可能(呼吸管理の元での治療が可能)	重症例対応数(年)	・件数が少ない(拠点が2か所で合計3件)	難治例に対応可	難治例対応患者実数(年)
高次脳機能障がい			・拠点の要件を定めていない。⇒要件を定めるかどうか	高次脳機能障がいの治療や支援にかかわる人材の育成が可能	人材育成の内容のわかる資料(研修の実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料または、見学や実習者の所属・職種・人数・受入れ月日)(年)
発達障がい(成人)	人材育成が可能(府全体の研修機能がある)	研修の内容がわかる資料(実施月日・場所・テーマ・参加者数・当日の配布資料)(年)	・「人材育成が可能」の表現があいまいでわかりにくい。(院内研修や子どもに関する研修を挙げた医療機関あり)	発達障がいへの対応力向上研修が実施可能(府全体の研修機能がある)	変更なし

地域連携拠点医療機関の要件・実績確認内容変更案

疾患名	地域連携拠点として望まれる機能	実績確認の内容	課題	望まれる機能の変更案	実績確認の内容の変更案
統合失調症	相談機能があり、地域の福祉関係機関等と連携して支援ができる	地域の福祉関係機関等※と連携して支援した患者数（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「連携」の定義がわかりにくい。 ・医療機関によって解釈が異なって、実績のばらつきが大きくなった可能性がある。 	相談機能があり、地域生活を支えるために必要な支援を行う機関との連携体制により支援ができる	地域生活を支えるために必要な支援を行う機関との連携体制により支援した患者数（月）
認知症	認知症疾患医療センターあるいは、専門医療相談、鑑別診断、身体合併症・周辺症状の急性期対応等認知症疾患センターと同等の機能がある	専門医療相談数（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・「専門医療相談」が何を指すのかがわかりにくい。 ・医療機関によって解釈が異なって、実績のばらつきが大きくなった可能性がある。 	変更なし	治療にかかる専門医療相談数（相談対応者の職種は問わない）（月）
高次脳機能障がい	①国基準診断 ②診断書作成 ③リハビリ対応 ④精神症状対応可能（入院） ⑤精神症状対応可能（通院）	①初診者数（月） ②手帳診断書作成数（月） ③プログラムの内容のわかるものと1回の概ねの参加者数（個人プログラムのみ実施の場合は、対象患者実数（月）） ④1 か月間の入院者実数 ⑤1 か月間の通院者実数	<ul style="list-style-type: none"> ・①②の実績が非常に低い（①は実績0が68%、1が24%、2が4%、②は実績0が86%、1が7%、2が3.5%）。 	変更なし	①初診者数（年） ②手帳診断書作成数（年） ③④⑤は変更なし